

遊びは仕事、仕事は遊び
遊びは仕事、仕事は遊び
仕事は学び、学びは仕事
仕事は学び、学びは仕事
遊びは遊び、遊びは遊び
遊びは遊び、遊びは遊び

大浦総合研究所

大浦勇三 著

続
ビジネス梁塵秘抄
（十）

目次

はじめに

第一部

「遊」

遊びをせんとや生れけん

第二部

「献」

仕事をせんとや生れけん

第三部

「学」

学びをせんとや生れけん

はじめに

平安時代末期、「梁塵秘抄(りょうじんひしょう)」という歌謡集が編まれました。平安時代末期は、日本の歴史の中でも先が見えない激動の時代でした。編者は後白河法皇で一一八〇年前後のものといわれます。書名の「梁塵」は、その歌で梁(はり)の塵(ちり)も動いたという故事からとられました。

多くの歌が七五調四句や八五調四句、さらには五七五七七の調子など、さまざまなバリエーションからなります。

通常、「梁塵秘抄」といえば、

遊びをせんとや生まれけむ、戯れせんとや生まれけん、

遊ぶ子供の声きけば、我が身さえこそ動がるれ。

岩波文庫版)

が有名です。

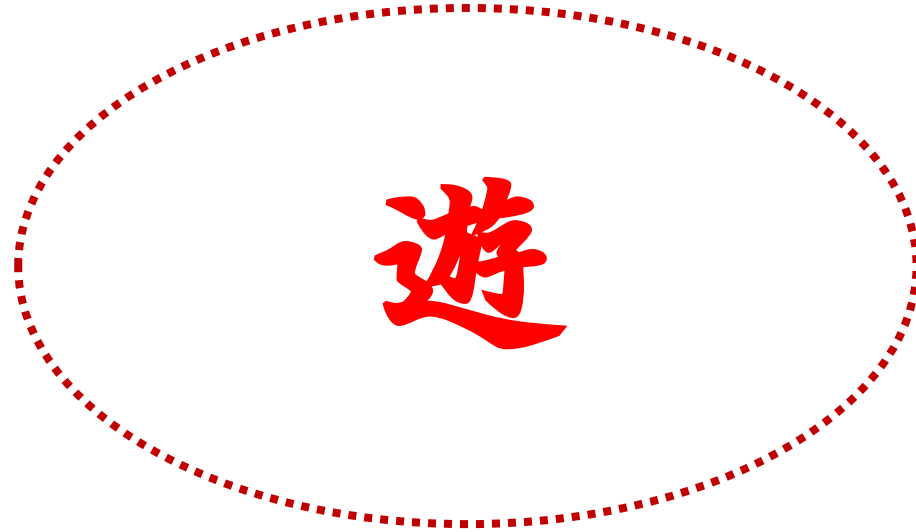
二〇一二年から二〇一四年の三年間、「ビジネス梁塵秘抄(一)〜(十)」全二〇巻(九〇〇ページ・二七〇〇文)を刊行させていただきました。この三年間で日本はもとより、世界の景色は大きく変わりました。日米欧を中心に、それまで国や地域を支えていたさまざまなインフラ・制度の劣化が散見されるようになっていきます。財政の悪化をはじめとして、改革のためのルール・規制が複雑化し、身動きがとれなくなってきたこと、国民一人ひとりが能動的・自覚的に課題を解決して自律するという意識が衰退し、国や周囲への依存意識が強くなっていること、などが指摘されています。

日本人は三・一一で、あり得ないことも起こること・見たくないものは観えないこと。すべては変わることを経験しました。一方、世界では二〇四五年問題が浮上、一台一〇〇〇ドル程度のPCの情報処理能力が全人類の能力を超えるとの予測も台頭しています。人工知能が人間の意思を介さずに仕事をする時代の予感。人工知能を敵ではなくパートナーとして連携しながら、人間の思考力・発想力を強靱化すべきという課題。人工知能は舗装道路では強力でも、石ころだらけの砂利道では人智の出番も多いはず。世界が合理的・効率的な方向に動き、その大きな流れに太刀打ちできない以上、やりたいこと・やれること・やるべきことの重なる領域を徐々に広げながら前進するしかありません。ドラッカーだけでなく、ピカソからアインシュタインまでを内包するのが二一世紀の経営学。固有の文化・価値観を生かしたイノベーションには組織文化風土の深耕がものをいいそうです。

本書は、「ビジネス梁塵秘抄」に続き、「遊(遊び)」「献(仕事)」「学(学び)」に対す

東京・神楽坂にて

大浦 勇三



遊びをせんとや生れけん

*二〇ページ、六〇文より
一ページ、三文を抜粹

続・ビジネス梁塵秘抄(十): 抜粋

●好きなことをやることで専門性を磨く
その上でコミュニケーション力を重視
情熱・やる気 形あるものは壊れない
イメージが形を創るから、と絹谷幸二

●三つのシフト 知識・人間・成功 知識は総合的から専門的へ
人間同士は競争から協力へ 成功はお金からやりがいの世界へ
長寿は長い人生に備える 健康で長く働く方法を真剣に考える
作家は出発が到達であり 一つの到達が一つの出発、と高見順

●与えられた場に甘んじず 超越へ
芸術というものこそ 個性の現れ
人格の発露 人格完成が一番大事
高い山を乗り越える、と三輪寿雪



仕事をせんとや生れけん

*二〇ページ、六〇文より
一ページ、三文を抜粹

● トヨタ式の源泉 能力構築競争、と藤本隆宏教授
戦後は 身体を忘れて脳だけで動くようになった
命は死なず 他界に移る 自分にウソをつかない
人生は悲しみ 好きなことだけやる、と金子兜太

● 成熟国家 急に破綻した例は少ない
高度な技術を保有する国はなおさら
主要推進力 技術革新・起業家精神
経済のミクロ構造、とファーガソン

● ナポレオン 永遠に完成しない下図
言葉 真人間でない方が詩は面白い
燠(おき) 薪を燃やした後の炭火
詩を書くのは商売だ、と谷川俊太郎



学びをせんとや生れけん

*二〇ページ、六〇文より
一ページ、三文を抜粋

● 修業で蓄えてきた貯金をこれから使う、と桐竹紋十郎
流動性知能 計算力・暗記力・集中力・知能指数など
結晶性知能 知識・知恵・経験知・判断力及び洞察力
流動性知能は二〇代がピークだが結晶性知能は六〇代

● 向田邦子 花ひらき はな香る 花こぼれ なほ薫る
気に入らないものはめるのなら はめない方がいい
士魂商才 人が生きていくうえで 武士の士魂が必要
生活・自立するため 士魂と商才が必要、と渋沢栄一

● わがままだっというじゃないの、と室井摩耶子
九十歳超 一日五時間練習しないとダメになる
ピアノは嫉妬深い ピアノ弾くのは苦じゃない
さまざまな能力は スマート・クリエイティブ

大浦勇三（おおoura ゆうぞう）

oura@office.emaill.ne.jp

大浦総合研究所 代表

<http://www.ne.jp/asahi/oura/oura-research-institute>

早稲田大学卒業、筑波大学大学院修了。

米国大手コンサルティング会社アーサー・D・リトル 主席コンサルタントを経て現職。担当領域は、経営改革、経営戦略&情報通信技術（ICT）戦略策定、業務改革／組織改革、研究開発／商品開発マネジメント、ナレッジマネジメント&イノベーションマネジメント、人材マネジメント、コーチング&メンタリング、プロジェクト&プログラムマネジメント、ベンチャービジネス支援等のコンサルティング。

主な著書には、

- ・「ビジネス梁塵秘抄（一）～（十）」（全十巻）（大浦総合研究所）
 - ・「イノベーション・ノート」（PHP研究所）
 - ・「IT技術者キャリアアップのためのメンタリング技法」（ソフトリサーチセンター）
 - ・「よいコンサルタントの見分け方、かかり方」（清話会）
 - ・「ナレッジマネジメントが見る見るわかる」（サンマーク出版）
 - ・「図解ナレッジ・カンパニー」（東洋経済新報社） ほか
- その他新聞、雑誌、ウェブサイトへの寄稿多数

続・ビジネス梁塵秘抄（十）「抜粋」 著者 大浦勇三

二〇二〇年八月 初版 第一刷発行

大浦総合研究所

〒二七〇・〇〇三四 松戸市新松戸七・五四三

◎大浦総合研究所

大浦総合研究所の許可なく複製・改変などを行うことはできません。